

今月号の特集では、鉄道におけるエネルギーの有効活用や使用削減、高効率運用についての研究開発の成果についてご紹介しました。

近年、鉄道事業者においては、省エネルギー車両の導入が進んでいます。導入することだけでも十分に使用エネルギー削減効果が高いわけですが、車両の運用方法、運転方法の工夫により、さらに使用エネルギー削減効果を高められる可能性があります。

また、地球環境問題に対しては、これまで鉄道事業者におい

ても様々な取り組みがなされてきました。今月号の特集記事において、鉄道のこの20年の温室効果ガスの排出動向を振り返り、今後の環境負荷低減の方向性を展望しています。

今回の特集が、今後のさらなる省エネルギー化や地球環境問題に対する取り組みを考える上での一助となれば幸甚です。

さて、次号の特集は「施設の補修・補強技術」です。コンクリート構造物、盛土、トンネル覆工、鋼鉄道橋、レールに関する補修・補強技術の研究開発成果についてご紹介します。ご期待下さい。(M. A.)